



東京広告協会報

VOL. 106
2017

TOKYO ADVERTISING ASSOCIATION (TAA)

発行・公益社団法人東京広告協会 東京都中央区銀座7丁目4番17号 電通銀座ビル7階

TEL.03 (3569) 3566 FAX.03 (3572) 5733 http://www.tokyo-ad.or.jp E-mail info@tokyo-ad.or.jp



ご挨拶

公益社団法人 東京広告協会 理事長 大平 明

日頃は当協会の活動に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。公益社団法人東京広告協会は、本年、創立70周年を迎えることができました。心より御礼申し上げます。

東京広告協会の前身・日本広告会は、1947年2月、広告税の設定に端を發し、広告主・媒体社・広告会社が業態の枠を超えて立ちあがり、総合広告団体として設立されました。以来、広告界の健全な発展に寄与すべく活動してまいりましたが、広告の社会的使命をさらに推し進めていくために、活動スローガン「広告の元氣は、ニッポンの元氣」のもと、積極的に事業に取り組んで参ります。

今後も協会活動を一層充実させ、会員サービスの向上に努めてまいります。是非とも倍旧のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

第89回定時総会 開催

東京広告協会の第89回定時総会が2月20日午後3時30分より帝国ホテル3階富士の間にて開催され、会員・関係者ら約200名が出席した。(委任状提出を含む出席正会員数は454名)

審議に先立ち大平明理事長が上記のとおり挨拶を述べ、総会の開会を宣言した。

続いて定款に基づき大平理事長が議長に当たり、内田公至専務理事による進行のもと、議題第1号の報告に続いて、第2号(第1号議案)、第3号(第2号議案)が諮られ、いずれも原案通り委任出席者を含む出席会員全員一致で承認された。最後に第4号を説明し、本総会は閉会となった。

次いで新理事及び監事は別室に移動し臨時理事会を開催。理事長、副理事長、専務理事及び常務理事を選定した。(2頁参照)

引き続き第36回「東京広告協会 白川 忍賞」の贈賞式では、大平理事長から佐治信忠氏(サントリーホールディングス(株)代表取締役会長、(公社)日本アドバタイザーズ協会前理事長、(公社)ACジャパン前理事長)に同賞が、久保田和昌氏(株)サン・アド代表取締役会長兼社長)に特別功労賞が贈られた。(3頁参照)

休憩をはさみ、歌舞伎俳優の中村吉右衛門氏が「歌舞伎俳優の仕事～初舞台から70年～」

の演題で記念講演を行い、一般参加者を含む約350名が出席し、盛況裏に終了した。(4頁参照)

記念講演終了後は創立70周年記念懇親パーティーが開かれ、大平理事長の挨拶後、来賓の(公社)日本アドバタイザーズ協会理事長伊藤雅俊氏に祝辞と乾杯のご発声をいただいた。(5頁参照)会員関係者は和やかに懇談し、親睦を深めた。

総会次第

- 挨拶 理事長 大平 明
- 議事録署名人名選任
- 議題
 - 第1号 平成28年度事業報告の件
 - 第2号 平成28年度決算承認の件(第1号議案)
 - 監査報告(林 慎太郎監事)
 - 第3号 任期満了に伴う理事及び監事選任の件(第2号議案)
 - 第4号 平成29年度事業計画及び収支予算の内容報告の件



役員一覧（順不同・敬称略）

※平成29年2月20日現在

理事長	大平 明	大正製薬ホールディングス(株)	理事	松田陽三	(株)読売新聞東京本社
副理事長	高嶋達佳	(株)電通		桑田一郎	(株)日本経済新聞社
専務理事	内田公至	(公社)東京広告協会		松本 肇	(株)産業経済新聞社
常務理事	中井良博	(公社)東京広告協会		飯田義典	(株)中日新聞社東京本社
事務局長	片上 崇	味の素(株)		森 武文	(株)講談社
	田中敏宏	キリンビール(株)		武田 徹	(株)テレビ朝日
	山田眞二	サントリービジネスエキスパート(株)		小池 清	(株)ニッポン放送
	小出 誠	資生堂ジャパン(株)		望月 渡	(株)電通
	大畑俊樹	第一三共ヘルスケア(株)		澤田邦彦	(株)博報堂DYホールディングス
	梅岡 久	大正製薬(株)		上田 周	(株)朝日広告社
	鈴木 登	(株)ツムラ		加藤 武	(株)アサツー デイ・ケイ
	土橋代幸	(株)トヨタマーケティングジャパン		久保田和昌	(株)サン・アド
	細川浩二	パナソニック(株)		新井 誠	凸版印刷(株)
	藤井龍也	(株)朝日新聞社	監事	長崎之保	IAA日本国際広告協会
	手塚泰彦	(株)毎日新聞社		林 慎太郎	(株)TBSテレビ
				上津原庸介	(株)弘亜社

平成29年度委員会委員一覧（敬称略・順不同）

※平成29年1月26日現在

総務委員会

委員長	片上 崇	味の素(株)
副委員長	奥田陽太郎	(株)電通
委員	大野知法	キリンビール(株)
	入倉 昇	第一三共ヘルスケア(株)
	福田裕一朗	(株)毎日新聞社東京本社
	有田 淳	(株)読売新聞東京本社
	清澤 優	(株)産業経済新聞東京本社
	後藤洋介	(株)中国新聞社東京支社
	高木温人	(株)日経BP
	谷口洋一	(株)テレビ朝日
	小野直子	日本テレビ放送網(株)
	小池 清	(株)ニッポン放送
	大矢憲昭	(株)博報堂
	上津原庸介	(株)弘亜社

広報委員会

委員長	藤井龍也	(株)朝日新聞社
副委員長	小出 誠	資生堂ジャパン(株)
委員	小野 剛	(株)毎日新聞社東京本社
	稲川 勉	(株)神戸新聞東京支社
	高橋正則	(株)西日本新聞東京支社
	斎藤正一	(株)河北新報社東京支社
	光山洋三	(株)スポーツニッポン新聞社東京本社
	石井明夫	(株)TBSテレビ
	市川 剛	(株)電通
	高田豊造	(株)博報堂
	中島 香	(株)アサツー デイ・ケイ
	長谷川千春	(株)大広
	高木典和	(株)読売エージェンシー
	高橋庸江	(株)東急エージェンシー

業務委員会

委員長	望月 渡	(株)電通
副委員長	赤坂 渡	(株)中日新聞社東京本社
委員	牧野清克	サントリービジネスエキスパート(株)
	犬飼律子	(株)ツムラ
	辻本 聡	(株)トヨタマーケティングジャパン
	笠原章宏	(株)朝日新聞東京本社
	中村弘美	(株)日本経済新聞社東京本社
	高橋道裕	(株)北海道新聞社東京支社
	平岡利介	(株)テレビ東京
	前田武志	読売テレビ放送(株)東京支社
	須垣有司	(株)フジテレビジョン
	佐々木浩一	(株)ニッポン放送
	寺島二郎	(株)博報堂
	野中昭弘	(株)朝日広告社
	蓮沼周一	(株)日本広告社

法務政策委員会

委員長	関 邦彦	三菱電機(株)
副委員長	柳本英樹	(株)博報堂DYホールディングス
委員	長瀬元昭	資生堂ジャパン(株)
	園原 茂	(株)東芝
	城戸康秀	(株)朝日新聞社
	川瀬史朗	(株)読売新聞東京本社
	大澤英一郎	(株)日本経済新聞社東京本社
	佐々木 泰	(株)講談社
	八幡泰光	(株)テレビ朝日
	久保田 直	(株)アサツー デイ・ケイ
	古河崎敏夫	(株)大広
	永江 禎	(株)電通
	近藤康之	(株)東急エージェンシー
	北村裕一	(公財)広告審査協会
	田嶋 炎	(一社)日本民間放送連盟
	橘 一	(公社)日本広告審査機構

第36回（平成29年）「東京広告協会 白川 忍賞」

佐治 信忠氏

サントリーホールディングス(株)代表取締役会長、公益社団法人日本アドバイザーズ協会相談役（前理事長）、公益社団法人ACジャパン前理事長

贈賞理由

サントリーグループを長年にわたり強力なリーダーシップで牽引するとともに、公益団体の要職を歴任し、広告の価値向上に大きく貢献。2011年から16年まで日本アドバイザーズ協会理事長を務め、現在は相談役として企業の広告活動の発展に尽力している。また、ACジャパン理事長を10年間務め、公共福祉活動に取り組む団体として、社会にとって有益なメッセージを広告の形で積極的に発信した。広告活動を企業、公共両面からサポートし、広告界の健全な発展に大きく寄与した。

受賞の言葉

この度は伝統ある「白川忍賞」を受賞し、大変光栄に、又、心から嬉しく思います。日本アドバイザーズ協会、ACジャパンの理

事の皆様、事務局の皆様、関係各位には大変お世話になり、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

振り返れば東日本大震災の際に、TVCMが軒並みAC作品に入れ替わり、視聴者の皆様からの抗議の電話対応に事務局がパニックになった事を、今、改めて思い出しております。アベノミクスによって経済は少しずつ良くなってきたものの、一般消費の現状は、まだまだこれからのようです。こういう時に大切なのは、何と言っても宣伝広告であります。わがグループも本年の広告費は“青天井”（会場大喝采）で、超積極的にマーケティング活動を行っていきたいと思います。ありがとうございました。



第36回（平成29年）「東京広告協会 白川 忍賞」特別功労賞

久保田 和昌氏

(株)サン・アド代表取締役会長兼社長、サントリーホールディングス(株)顧問

贈賞理由

1977年サントリー入社後、経理部はじめ宣伝、ビール事業、RTD事業等幅広く従事。サントリーグループの宣伝・広告活動を東ね、話題の広告コミュニケーションを数多く生み出してきた。現在は、サン・アドのトップとして質の高いクリエイティブワークを積極的に展開。東京広告協会理事、日本アドバイザーズ協会常任理事及びSP委員会委員長、ACC副理事長など広告関係団体の要職も数多く務め、広告界の活性化に大きく貢献した。

受賞の言葉

栄えある賞に、心から感謝いたします。諸先輩方のご指導と社員達の汗の結晶、そして社外の皆様からのご理解によるものと思っております。

『やって失敗する罪よりも、やらざる罪の方がはるかに重い』という社内でも語り継がれている言葉があり、私は「挑戦せよ、誰もやってい

ないことをやれ、そしていち早くやれ」ということだと理解し、実践してきました。「想いを持って舟を作れ、そして大海へ漕ぎ出せ、もしそういう舟ならばたとえ泥船であっても乗るぞ」と仲間たちを鼓舞し、その過程での成長を目指してまいりました。

これからは、2つの言葉を大切にしていきたいと思います。一つは、「フルフラット・フルオープン」。何事に対してもマーケット1st、生活者1stであることを、“見える”ようにやること。もう一つは「利他の心」。己さえ良ければではなく、相手を思いやる心を持つこと。近年、“共生”の大切さが言われていますが、底流には「利他の心」があると思っています。

これらを心に刻み、コミュニケーションの力を信じ、これからも精進してまいります。皆様のご健勝を祈念し、御礼の言葉とさせていただきます。



第89回 定時総会記念講演

講師：中村 吉右衛門氏（歌舞伎俳優） インタビュアー：小玉 祥子氏（毎日新聞社）
演題：「歌舞伎俳優の仕事 ～初舞台から70年～」

…中村吉右衛門さんは初代松本白鸚（八代目松本幸四郎）さんの次男として生まれ、後に母方の祖父である初代吉右衛門さんの養子になりました。初代は明治から昭和期までの演劇界を代表する名優でしたが、目標はやはり初代ですか。

初代は本当にすごい人で、大変なプレッシャーでした。私は根っからの江戸っ子ですから、関西風の軽みのあるものはとてもかかないません。でも、例えば『熊谷』などでしたらなんとか足元と思ひ、一筋に勉強してまいりました。教えてくれたのは初代に私淑して習ってきた実父の白鸚でした。

…初代が亡くなった際、お母様から大変厳しいことを言われたそうですが。

知らせがきて飛んでいったら、「跡継ぎなのだから死に水取りなさい」と言われ、唇ぬらしたらば母に「立派な役者、跡継ぎになることを誓いなさい」と。死のこともよく分からない10歳の子に言われてもなんだか分からなかったところどころが本当ですね。その上、「止め名」といって名を継がない例えば円朝という噺家のように、吉右衛門も名を継がせるなど新聞に大きく出たのです。跡継ぎとして既に舞台を踏んでいるのに僕はどうしたら、と子供心に悩みました。そして初代の生前は周囲も持て囃して「若旦那、若旦那」と言われていたのが、馬鹿旦那、馬鹿旦那に変わるという経験もしました。

…『熊谷陣屋』の熊谷直実を初代も吉右衛門さんも得意としていて、初演に際して初代の映像を何度もご覧になられたそうですが。

映像を繰り返し見、レコードに残っていたせりふを聞いて勉強しました。でも難しく。初代は唄を唄える人だったので音階も正確で、音階によって悲しみや喜び、苦悩などを現したせりふを言える人でした。昔の名優の形を舞台上で再現するのが我々の役目ですが、なかなかできないのが正直なところですね。

…まねるところから始まるということですね。

まねるところから始まり、そして歴史からも。お国歌舞伎が17世紀から始まり、女歌舞伎、若衆歌舞伎、野郎歌舞伎を経て今の形になり、歴代の名優たちが舞台芸術として高度なものをお客さまにお見せしようと一生懸命演出を考え、それらを受け継いだ初代や七代目松本幸四郎の

祖父が受けつぎ次代へ渡し、それらをまた我々が学んでやっています。

…「個性」とはどのように出てくるものなのですか。まねる中で、演じ手の心がどこにあったかを捉えることを大切にしているそうですが。

最初は動き、せりふ、全部まねからはいりませんが、個性は誰でも持っているものです。まねも、その人の個性をもってまねしますからそれは自然に出るものです。そう教わりました。しかし、まねるのも難しい。ぱっとコピー機のようにはいきません。それでも似ている体形や、声柄でしたらまねできていきますが、その名優が役の心をどのように捉えたかというのは難しく、最初は分かりません。でも繰り返してやっていくうちに、ああなるほど、そういう意味でこういう音の使い方をしているのか、ということも分かってきます。そして原作を読んだり、色々な人のやり方を見て、ああ、やっぱりこれはこの人がいい、このやり方がいいと思うこともあります。結局は自分の体形、声、経験、見たものなどの色々を考えますと、やはり初代の演出に行き着きます。…吉右衛門さん演じる、『勸進帳』の弁慶です。

祖父の七代目松本幸四郎は1500回以上演じています。初代も数回やりましたが、とても体力が持たないということでした。私も何回かはやっていて、80歳の時に弁慶をやるのが目標です。最初から最後まで出ずっぱりで一人で芝居をやるようなもので、飛び六方という歌舞伎独特の入り方もあり、ここまで来ると体力的にも限界がきていますがそれでも飛んで入る、マラソンのオリンピック選手がゴール直前みたいな状態でやっております。

…最後にメッセージをお願いいたします。

舞台はここで色々申し上げても実際に見ただけだかにはおわかり頂けません。毎年9月には初代の俳名である「秀山」を冠した『秀山祭』をやらせて頂きますので、どうかよろしくをお願いいたします。



撮影／鍋島徳泰氏

東京広告協会 創立70周年記念 懇親パーティー 開催



ご 祝 辞

(公社) 日本アドバイザーズ協会理事長 伊藤 雅俊氏

70周年誠にありがとうございます。この70年間、広告は圧倒的な技術進歩とともに、人々の暮らしを支え、生活の豊かさに貢献してまいりました。

巷ではアメリカ1st、イギリス1st、都民1st…等々言われていますが、広告はどうでしょうか。広告はアドバイザー1st、ではありません。広告は、見る人、聞く人、読む人である「ピープル1st」です。我々は、広告の力で日本人の生活の質の豊かさに向かって、一心に前を向いて走ってきました。その結果、この70年間広告産業は発展し続け、リーマンショックも乗り越えて拡大しています。

かつて、のれんや看板から始まった広告は、技術革新の都度生まれる新しいメディアの登場によってさらに発展し豊かになり、人々の心を動かし続けています。そして情報技術の革新によって時代をけん引するデジタルメディアも含めて、さらなる発展に向けて努力して参りたいと思います。

そのために大切なことが1つあります。「ピープル1st」においては、広告の受け手だけでなく、広告界の活動を支える社員一人一人も大切なピープルです。広告に携わる多くの人々のやりがい、働き甲斐、さらには創造性あふれる活動と、一人一人の生活が豊かで充実していくことに向けて努力してまいりましょう。現在においても連続と続く仕事1stの業界習慣を、皆様と一緒によりよい未来の形に変えていきたいと思っています。

広告は人々がよりよく生きるための情報です。広告は人の進歩のためにあります。改めまして東京広告協会創立70周年おめでとうございます。次代の広告界を支える、ご参集の皆様のご発展をお祈り申し上げます。



—公益社団法人東京広告協会の略歴—

(公社) 東京広告協会は、1947年2月13日、広告主・広告関係会社・媒体社が集まり、総合広告団体として97社・121名の会員で設立。以来、広告の信頼性、社会的評価を高め、生活者に信頼される広告作りを目指して活動してきました。

2012年には公益法人制度改革に伴い公益社団法人に移行。会員として加盟している(公社)全日本広告連盟の全事業の業務委託を受け運営を担うと共に、「広告の社会的使命」を推進し、一般市民の文化的な生活の向上、公正かつ自由な経済活動の推進及び地域社会の健全な発展に資することを目的として、同連盟加盟の各地広告協会等との連携のもと、各種事業活動を積極的に推進しています。



昭和22年2月13日
日本広告協会発会式

1947年(昭和22年)

前身の「日本広告会」設立(会員97社・121名)

1949年(昭和24年) 社団法人認可

1958年(昭和33年)

社団法人東京広告協会に名称変更

2012年(平成24年)

公益法人制度改革に伴い公益社団法人に移行

2017年(平成29年)

創立70周年(会員337社・627名)



東京広告協会 新常務理事（兼 事務局長）に中井良博氏が就任



2月20日に開催した臨時理事会にて、新常務理事に中井良博氏（東京広告協会事務局長）を選任した。
なお、前常務理事の福井雅

章氏は任期満了により、退任した。

【中井良博新常務理事（兼 事務局長）略歴】

昭和61年 株博報堂入社

平成28年4月 （公社）東京広告協会事務局長

平成29年2月 （公社）東京広告協会常務理事

平成29年度実践広告スキルアップセミナー開催

7月12日(水)・13日(木)

平成29年度「実践広告スキルアップセミナー」を、本年は7月12日(水)、13日(木)に開催します。
(例年と時期が異なりますのでご注意ください)

各分野の第一線でご活躍の方々を講師にお招きする予定です。詳細が決定し次第、HP・郵送等でご案内します。

第65回全広連神戸大会開催

5月17日(水)～19日(金)

第65回全日本広告連盟神戸大会が、5月17日、ポートピアホールを主会場に大会テーマ『いざ出航、広告の未来へ！～次世代につなぐ、「絆」とともに～』のもと開催され、式典のほか、記念リレープレゼンテーション、記念講演、記念演劇公演、懇親会が催されます。

翌18日からは、見学会、懇親ゴルフ会を実施。

見学会は日帰り4コース、1泊2日1コース。懇親ゴルフ会は、神戸ゴルフ倶楽部を含む3コースが用意されています。



大会プログラム等は全広連神戸大会特設ホームページをご覧ください。

ク ロ ス ロ ー ド

C R O S S R O A D

ク ロ ス ロ ー ド

1月度理事会・委員会等開催報告

1月17日（火） 法務政策委員会
1月19日（木） 広報委員会
1月23日（月） 業務委員会
1月24日（火） 総務委員会
1月26日（木） 第26回定例理事会

4月度理事会・委員会等スケジュール

4月4日（火） 法務政策委員会
4月6日（木） 広報委員会
4月7日（金） 業務委員会
4月12日（水） 総務委員会
4月14日（金） 第27回定例理事会

新入会員社（敬称略）

株コレクシア 代表取締役 村山幹朗